

パブリックコメントに対する町の考え方

意見提出者	No.	意見内容	回答																			
A	1	<p>空いた土地はすぐに駐車場になり久度地域は駐車場ばかりである。せっかくの駅前ということもあるので何かショッピングとか今世代の人たちが活性化するためにかんがえてもらいたい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、計画対象区域が駅前ということもあり、計画案P7に記載する中央公民館前道路及び王寺停車場線沿道商業施設誘導事業として、低層階への店舗・事務所等の用途誘導による商業・サービス業の振興を図り、にぎわいのある都市空間を創出するために、地区のルールづくり、誘導する方法を計画しています。</p>																			
B	2	<p>久度の家並みは王寺の歴史を感じさせてくれます。久度の家々の中には、少なくとも昭和30年代までは遡れる家があります。道のあり様だけだともっと歴史を遡れるでしょう。そして、今では昭和40～50年代に建てられた家々も、その時々々の歴史の空気を残す大事な文化遺産です。</p> <p>そこには懐かしさや、王寺という町の歴史の連続、この町に住んできた人々とのつながりを感じることができます。</p> <p>こうした古い家並みの変更は、安全などのいかなる理由があるにせよ、おやめいただくか、最小限に留めていただきたい。</p> <p>王寺駅を降りる、駅前は大開発されていないくて、久度という穏やかな家並みがある、これこそが王寺町の魅力ではないでしょうか。それゆえ、久度の道の拡張は、いかなる理由があるとしても、おやめいただくか、最小限にお願いしたいと切に望むものです。</p>	<p>人口減少、高齢化社会に対応するため、これからの王寺町のまちづくりには、住み慣れた地域に引き続き住み続けるための良好な環境整備と併せて、日常生活圏等において必要な都市機能（都市の生活を支える機能「医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業など」）の集約や誘導、歩行空間、持続可能な公共交通ネットワークの充実などに加えて、防災機能の向上を一体的に取り込むことが重要であり、必要であると考えています。</p> <p>久度地区には、道路幅員が狭いため、緊急車両が容易に進入できない、消防活動困難区域が存在します。また、古くからの木造住宅が密集し、空き家が増加しており、地震発生時における建物の倒壊による道路の閉塞、火災発生時の延焼の恐れがあります。さらに、地区内の道路は、歩道が設置されていないものが多く、安全性が充分でない状況です。加えて、沿道の土地は接道状況が原因で、低未利用地となっている所が多く存在しています。</p> <p>この計画案の最も大きな目的は、防災対策の強化です。道路計画も緊急車両が消防活動等に取り組むことを念頭に置いて考えています。また、災害発生時の避難路の確保、延焼の防止、歩道と車道を明確に区別することによる通行人等の安全性の向上、土地の利活用の促進を図ることを目的とした道路計画としています。</p> <p>久度地区内のすべての道路を拡幅するような大規模に開発することが目的ではなく、地域の歴史等を守りながら、地域の方々が安心して住み続けられるようにすることが、今回の計画案の目的です。</p> <p><b>【消防活動困難区域について】</b></p> <table border="1" data-bbox="1590 1285 2733 1617"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防活動困難区域</td> <td>消防自動車が行き通れる道路に面する震災時有効水利から消防活動が容易にできる範囲以遠の範囲</td> </tr> <tr> <td>震災時に消防自動車が行き通れる道路</td> <td>幅員6m以上</td> </tr> <tr> <td>震災時有効水利</td> <td>消防自動車が行き通れる時に部署可能な箇所に位置する耐震性貯水槽や消火に利用できる河川、プール、ため池等</td> </tr> <tr> <td>消防活動が容易にできる区域</td> <td>消防自動車搭載ホース延長200mと想定してホースの屈曲を考慮して、水利140m以内の区域</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：都市防災ハンドブック編集委員会（2005）『震災に強い都市づくり・地区まちづくりの手引』</p> <p><b>【久度地区で発生した主な火災について】</b></p> <table border="1" data-bbox="1590 1759 2724 1881"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>発生日</th> <th>被害状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久度3丁目地内（商店街（花緒街））</td> <td>昭和54年2月1日</td> <td>17棟全焼</td> </tr> <tr> <td>久度2丁目地内</td> <td>平成29年6月17日</td> <td>1棟全焼</td> </tr> </tbody> </table>	区分	基準	消防活動困難区域	消防自動車が行き通れる道路に面する震災時有効水利から消防活動が容易にできる範囲以遠の範囲	震災時に消防自動車が行き通れる道路	幅員6m以上	震災時有効水利	消防自動車が行き通れる時に部署可能な箇所に位置する耐震性貯水槽や消火に利用できる河川、プール、ため池等	消防活動が容易にできる区域	消防自動車搭載ホース延長200mと想定してホースの屈曲を考慮して、水利140m以内の区域	場所	発生日	被害状況	久度3丁目地内（商店街（花緒街））	昭和54年2月1日	17棟全焼	久度2丁目地内	平成29年6月17日	1棟全焼
区分	基準																					
消防活動困難区域	消防自動車が行き通れる道路に面する震災時有効水利から消防活動が容易にできる範囲以遠の範囲																					
震災時に消防自動車が行き通れる道路	幅員6m以上																					
震災時有効水利	消防自動車が行き通れる時に部署可能な箇所に位置する耐震性貯水槽や消火に利用できる河川、プール、ため池等																					
消防活動が容易にできる区域	消防自動車搭載ホース延長200mと想定してホースの屈曲を考慮して、水利140m以内の区域																					
場所	発生日	被害状況																				
久度3丁目地内（商店街（花緒街））	昭和54年2月1日	17棟全焼																				
久度2丁目地内	平成29年6月17日	1棟全焼																				

意見提出者	No.	意見内容	回答
C	3	<p>王寺停車場線は、車の往来が激しい上に信号待ちが長い為、王寺駅利用者がわざわざ徒歩で、王寺駅北エリア建替え促進事業エリアや中央公民館跡地、大和川ふれあい広場へ、訪問することは無いと考えます。</p> <p>これを解消するには、1)王寺停車場線での車を減速させることと、2)王寺停車場線を徒歩で渡りやすくすることの、2つの対策が必要と考えます。</p> <p>1)王寺停車場線での車の減速については、道路に、横断歩道や減速帯、凸部・狭窄部・屈曲部（車線分離標や視覚効果）を、いくつか組み合わせて設置して頂くことが効果的だと考えます。</p> <p>2)王寺停車場線を徒歩で渡りやすくすることについては、横断歩道の増設と、リーベル東館にある陸橋の喫煙所の部分を、王寺停車場線の北側の歩道部分まで延伸し、歩道との接続部分にエレベーターやスロープを設置して頂くことが効果的だと考えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。本町としても、同じ考えでまちづくりを計画しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
	4	<p>大和川の昭和橋付近から明治橋付近までの河川敷道路を、片側一車線に拡幅して堤防を兼ねた防災道路として整備し、加えて、防災道路の南側に五十メートル間隔で、スロープと、防災機能付きの水屋を設置して頂くことが効果的だと考えます。そしてこの水屋には、カフェやコンビニといった事業所等の誘致を推進することで、水災害リスク軽減に加えて、にぎわいの創出と、大和川河川敷へのトイレの設置が、全て同時に実現できると考えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。本町としても、同じ考えでまちづくりを計画しています。また、河川空間の利活用を通じて、地域交流の機会や場を創出したいと考えています。いただいたご意見は、今後の大和川河川空間の整備の参考とさせていただきます。</p>
	5	<p>JR・近鉄の交通分岐点である王寺駅と大型道路に挟まれた地の利を生かすには、1)病院や2)ホテル、3)新駅などの公的施設の誘致が、誘致される側のメリットも大きいと考えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。本町としても、同じ考えでまちづくりを計画しています。いただいたご意見は、花緒街の活性化の参考とさせていただきます。</p>

意見提出者	No.	意見内容	回答
D	6	<p>駅北と駅南を結ぶのに現在、久度大橋しかなく、意外に駅南に行くのが不便であったりします。今後、駅前全体のにぎわいを創出するために、たとえば、東横INNあたりから駅北エリアにいけるようになれば駅前全体として更のにぎわい等の創出に繋がるのではないかと考えています。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。今後も機会があれば、町のまちづくりについて、ご意見をいただくなど積極的なご協力をお願いします。</p>
	7	<p>低未利用地が多く、また青空駐車場も空きが多くなっている状況かと思えます。王寺駅前で定住を考えていても、なかなか新築・中古等を含めマンションの空きがない状況です。せっかく大阪までも近く駅前でポテンシャルの高い土地ですので、住みたくなるような新しいマンション等ができれば、子育て世代の人口流入、にぎわい創出などできるかと思えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。本町としても、同じ考えでまちづくりを計画しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。今後も機会があれば、町のまちづくりについて、ご意見をいただくなど積極的なご協力をお願いします。</p>
E	8	<p>王寺北側エリアは、駅前の一部地域を除いて居住区域としての色合いが強い。全国的にも少子高齢化、人口減少が見込まれる中、財源を使い店舗や事業所等を誘致する必要があるのか。</p>	<p>人口減少、高齢化社会に対応するため、これからの王寺町のまちづくりには、住み慣れた地域に引き続き住み続けるための良好な環境整備と併せて、日常生活圏等において必要な都市機能（都市の生活を支える機能「医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業など」）の集約や誘導、歩行空間、持続可能な公共交通ネットワークの充実などに加えて、防災機能の向上を一体的に取り込むことが重要であり、必要であると考えています。</p> <p>町が主体となって実施するものは、地区内の幹線的な道路整備を予定しています。</p> <p>店舗や事業所の誘致については、当該地区のルール作り、誘導する方法を計画しています。</p> <p>本計画案では「民間資金や民間活力を活かしたまちづくり」を推進しています。</p>

意見提出者	No.	意見内容	回答
E	9	<p>道路の安全性については、久度2号線や御幸6号線が三郷町方面や斑鳩町からの通り抜け道となっていることが地域住民や歩行者の危険性を増す要因になっている。道路を拡幅することでかえって通り抜けしやすい道路となり、交通量が増え事故等のリスクが上がる。居心地がよく歩きたくなるまちなかに反するのではないか。また、交通量が増えることにより、消防活動への悪影響が出てくるのではないか。安全、安心な地域づくりや歩きたくなるまちなかを考えるのであれば、明治橋から駅前につながる道路（194号線）を拡幅し通行しやすくする等、久度2号線が通り抜けのために使用されないようにすることが重要ではないのか。</p> <p>久度2号線から続く旧久度の家東側の道路が基本計画の対象となっていないのはなぜか。道路幅も同程度であり、久度2号線と一体的に使用されている道路である。久度2号線を対象とするのであれば同様に対象とすべきと考えるが、計画の対象から除外されている理由を明らかにしてほしい。</p>	<p>この計画案の最も大きな目的は、防災対策の強化です。道路計画も緊急車両が消防活動等に取り組むことを念頭に置いて考えています。また、災害発生時の避難路の確保、延焼の防止、歩道と車道を明確に区別することによる通行人等の安全性の向上、土地の利活用の促進を図ることを目的とした道路計画としています。</p> <p>いただいたご意見にある、通り抜け＝通過交通への対応については、次の段階としての道路の設計を行う際に、幅員構成や交通規制などを考慮し、歩行者にとって歩きやすい道路空間となるよう計画したいと考えています。</p> <p>久度地区内のすべての道路を拡幅するような大規模に開発することが目的ではなく、地域の歴史等を守りながら、地域の方々が安心して住み続けられるようにすることが、今回の計画案の目的です。</p> <p>なお、ご指摘の旧久度の家東側の町道東御幸4号線については、県道156号王寺停車場線に信号処理となっている交差点が既に存在することから、補助幹線には選んでいません。また、町道東御幸1号線の東側については、将来的に地区計画により、十分な幅員を確保できるように検討しています。</p>
	10	<p>御幸6号線と156号線の交差点には信号がなく、近くにバスロータリーがあり、156号線は交通量が多いことから御幸6号線を幹線道路として交通量が多くなった場合、駅前の渋滞が悪化するのではないか。</p>	<p>町道御幸6号線は、まちに出かけたくなる、歩きたくなる、人間中心の空間を基本として、整備の方向性を検討しています。</p>
	11	<p>旧中央公民館の周囲は居住地域として事実上使用されていることから、旧中央公民館を防災活動拠点とすることには賛同するが、にぎわいの中心とする必要性の説明がない。北側エリアには観光資源も乏しいが、にぎわいの創出とは具体的にどのようなものを想定しなぜ必要であるのか明らかにしてほしい。</p>	<p>本町では、ウォークアブル推進都市として、誰もが居心地が良く、人間中心の空間を作ることで、まちに出かけたくなる、歩きたくなる『歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり』を推進しています。</p> <p>当該地は居住エリアであることから、計画案では、子ども、若者、高齢者が暮らし続け、地域で買い物をしたり、遊んだり、楽しんだりすることで地域のにぎわいを創り出そうとしています。そのため重視しているのは防災対策の強化、居住地としての機能、快適に歩くことができる公共空間です。もちろん、王寺駅に隣接しているため、他地域からの来訪者も想定されますが、商業施設を増やし、道路整備を進め、来訪者中心のにぎわいづくりをイメージしているものではありません。日々の暮らしにおいて、まちなかを歩き、新たな地域コミュニティを形成することによる、にぎわいの創出を想定しています。</p>

意見提出者	No.	意見内容	回答
E	12	水災害のリスクの点から防災活動拠点を旧中央公民館に設置することに問題はないのか。リーべる王寺を防災拠点にした方がいいのではないか。	旧中央公民館跡地は、地震や火災などの突発的な災害発生時の一時避難場所・防災活動拠点としての活用を想定しています。また、水災害は、被害が出る前に、避難所であるリーべる王寺東館へ避難していただくことを想定しています。その点については、自治会及び自主防災組織を通じて、住民の意識を醸成しています。
	13	王寺駅周辺は子育て世代等の居住希望と需要が多く住居用マンションが新設されている。商業エリアは、既存のリーべる王寺、花緒街、駅南側を拡充し、久度地域は居住エリアとして計画的に整備したほうが継続的な地域の発展活性化につながるのではないか。	No.11と同じ。
F	14	<p>大和川治水計画見直し後の堤防高に合わせ、久度2号線の北側にスーパー堤防を築造し、普段は親水公園、増水時は緊急避難場所に利用する。公園には昔懐かしい桜並木を復元し、賑わいと安心安全を提供する。アプローチ道路は、御幸6号線と小松2号線を12mに拡幅（歩道西側に5.0m、車道7.0m）し、ゆとりのある歩行者動線をつくる。小松2号線の歩道は公園に上がる歩道橋新設が望ましい。</p> <p>昭和57年の水害で2階まで浸水した経験から、建替え促進は水害に強い高層住宅の誘致をメインとし、そのための環境整備として道路の拡幅整備を行う。ゆとりある住環境、景観形成、ユニバーサルデザイン、交通安全、建築工事などを考慮すれば、拡幅整備後の道路幅員は12mが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久度2号線 拡幅整備 6.0m（北側はスーパー堤防）</li> <li>・久度8号線 拡幅整備 12.0m（2.5m+7.0m+2.5m）（東御幸1号線まで延長）</li> <li>・その他の道 拡幅整備 12.0m（2.5m+7.0m+2.5m）</li> </ul>	貴重なご意見ありがとうございます。今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

意見提出者	No.	意見内容	回答
F	15	中央公民館跡地利用は防災拠点や交流拠点にするとあるが、ハザードマップの浸水区域に防災拠点はありえない。交流拠点としてはリーベルがポテンシャルが高い。中央公民館跡地は、災害に強い高層住宅建て替え促進のモデルとして、民間活力を利用した高層住宅分譲事業用地としたい。	旧中央公民館跡地は、地震や火災などの突発的な災害発生時の一時避難場所・防災活動拠点としての活用を想定しています。また、水災害は、被害が出る前に、避難所であるリーベル王寺東館へ避難していただくことを想定しています。その点については、自治会及び自主防災組織を通じて、住民の意識を醸成しています。 旧中央公民館跡地について、道路拡幅までの当面の間は、地域コミュニティの活性化に向け、平時にはイベントや社会実験の場としての整備を計画しています。